

K-300i

iBias™ Class A Integrated Stereo Amplifier



KRELL
THE LEADER IN AUDIO ENGINEERING

Owner's Manual

■ 目次	ページ
■ 初めに	3
■ ご使用上の注意	3
■ 開梱	4
■ 設置について	4
■ フロントパネルの名称と機能	5
■ リアパネルの名称と機能	5-6
■ リモートコントローラーの名称と機能	7
■ リモートコントローラーの電池装着	8
■ 基本操作	9
■ メニュー設定項目の選び方 設定の仕方	10
■ メニュー オプション	
● Source Setup (ソース設定)	10
◎ Assign Names (入力機器名称)	10
◎ Theater Mode (シアター モード)	10
◎ Level Trim (入力レベルトリム)	10
● Preamp Out (プリアンプ出力設定)	10
◎ Level Trim (出力レベル設定)	10
◎ Output Mode (出力モード設定)	10
● Network Setup (ネットワーク設定)	11
◎ IP Address (IP アドレス設定)	11
● Diagnostic Mode (※使用しません。本国検査用)	11
● Software Version (バージョン情報)	11
● Software Update (ソフトウェアのアップデート)	11
● Display Brightness (ディスプレイ輝度調整)	11
● CEC Operation (※オプションデジタル基板専用)	11
● Serial Number (製造番号表示)	11
■ コントロール・オプション	
◎ Web Server (Web サーバー機能)	12
◎ RS232	12
◎ IP Control (IP コントロール)	12

■ 目次 (以降 K-300i Digital、デジタル・ボードのみに適応)

ページ

■ Digital Module

● mconnect Control; app(m コネクト・コントロール・アプリ)	13
◎MQA / Spotify 再生	14
◎NAS (ネットワーク再生)	14
● USB Stick (USB メモリー再生)	14
● Bluetooth (Bluetooth 再生/aptX による Bluetooth 再生)	15
● USB Computer Audio (PC によるストリーミング再生)	15
■ 主な仕様	16
■ 保証について	17

■ 初めに

このたびは K-300i インテグレートディッド・アンプリファイア をご購入求め頂き、誠にありがとうございました。

同社リファレンス・アンプの技術をふんだんに盛り込まれた本機のプリアンプセクションは、ボリューム回路を含む入力から出力まで全信号増幅回路を最小限のフィードバックにてディスクリート回路で構成しています。またドライバー段に至るまでの全ての回路はピュア・クラス A 増幅。

同社独自のサーフェイス・マウント テクノロジー (SMT) の採用で、各エレメント間の設置を緊密に保つ事を可能にし、シグナル・パスの大幅な短縮化を達成しました。

小型にして 150W/ch @8Ω、300W/ch @4Ω という驚異的なパワー・リニアリティーを A 級動作で達成します。

豊富な機能は本体のみならず、リモートコントローラーによって全ての操作を容易に行う事が可能です。

シアタースループットモードでは、2 チャンネルの音質を犠牲にすることなく、K-300i をサラウンドサウンドシステムの中核として機能させることが可能です。

多様なニーズにお応えするデジタル入力ボードも用意致しました。

NAS 等にストアされた音楽データのストリーミング再生も可能です。

ご使用上の注意

本機の性能を充分に引き出し、また安全にご使用いただくため、以下の点にご注意ください。

- 本機をご使用になる前に取り扱い説明書をお読み頂き、本機の機能、操作に関し御確認戴けます様、お願い致します。
- 各入/出力を接続もしくは外す際は、必ず電源をお切り下さい。
- 本体上下のスリット部は通気口になります。空気の流れを妨げぬように、スリット部には十分な空間を確保して下さい。
- 操作スイッチやノブを扱う際は、強く押さないで下さい。
- 本機のパネルを外したり、御自身で修理をする事は絶対にお止め下さい。感電等の重大なトラブルの原因になります。もし何かの異常が発生した場合は、ご購入求めの販売店、もしくは ACCA まで御連絡下さい。
- 長期間御使用されない場合は、電源コードを抜いて下さい。
- 落雷による被害を避ける為に、落雷発生時は AC プラグを本体から抜いて下さい。
- 本体内部にヘアピン等の異物が入り込まないように、十分ご注意下さい。もし異物が入ってしまった時は、即座に AC コードを抜き、販売店もしくは ACCA へご相談下さい。
- 本機を移動する際は必ず初めに AC プラグを抜き、その後に各種ケーブルを外して下さい。
- AC コードを本体、壁コンセントから抜く際は、必ずプラグにて行って下さい。コードを使用しての抜き差しは絶対に行わないで下さい。
- お手入れの際は、乾いた綺麗な布で行って下さい。化学洗剤や水等の使用は本機本体や仕上げにダメージを与える可能性があります。
- 本オーナーズ・マニュアルは保管される様、お願い致します。

■ 開梱

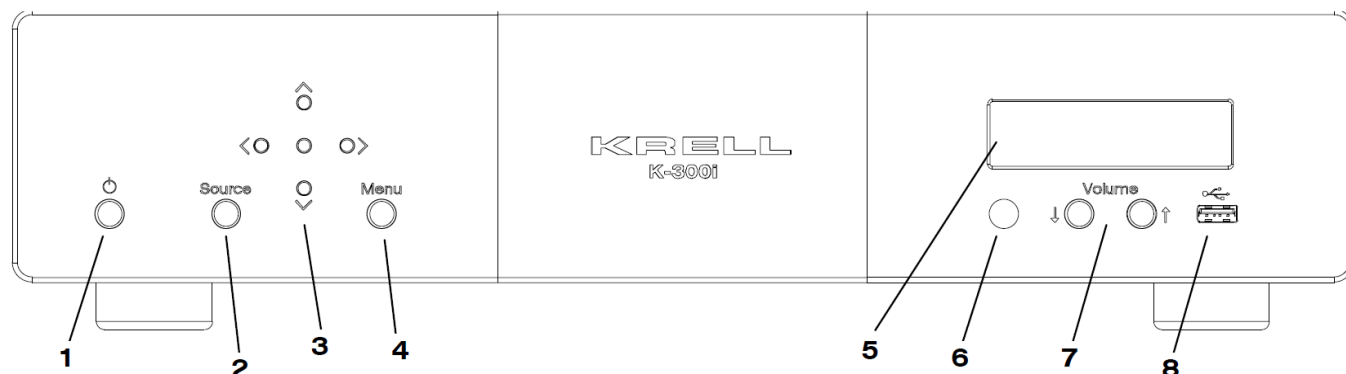
梱包を開きアクセサリボックスを取り出し、本体並びに下記の付属品が揃って入る事をご確認下さい。

- K-300i 本体
- AC 電源ケーブル (IEC 15A)
- リモートコントローラー
- リモートコントローラー用単 4 電池 2 本
- リモートコントローラー裏蓋取り外し用 T-10 トルクスレンチ
- 取扱い説明書
- 保障登録カード

■ 設置について

- 本機の出力回路は A 級回路にて構成されている為に、発熱量は大きくなります。
特に天板上には、放熱に十分なスペース（最低でも 10cm 以上）を確保して下さい。
- 本機を直射日光が当たる場所や放熱機器のそば等への設置はしないで下さい。また埃が溜まり易い場所、多湿、極端に温度が下がる、もしくは上がる場所への設置もお止め下さい。
- 平らな場所に設置し、放熱に必要なスペースを上下左右ともに、十分確保して下さい。
- 上下パネルに配置される冷却用スリットを妨げる物を置かない様、十分にご注意下さい
- 多湿、又は水等は、火災もしくは感電等の電氣的なトラブル感電等の原因になります。水濡れ等の危険性がある場所には絶対に設置しないで下さい。また濡れた手で絶対に本機を扱わないで下さい。

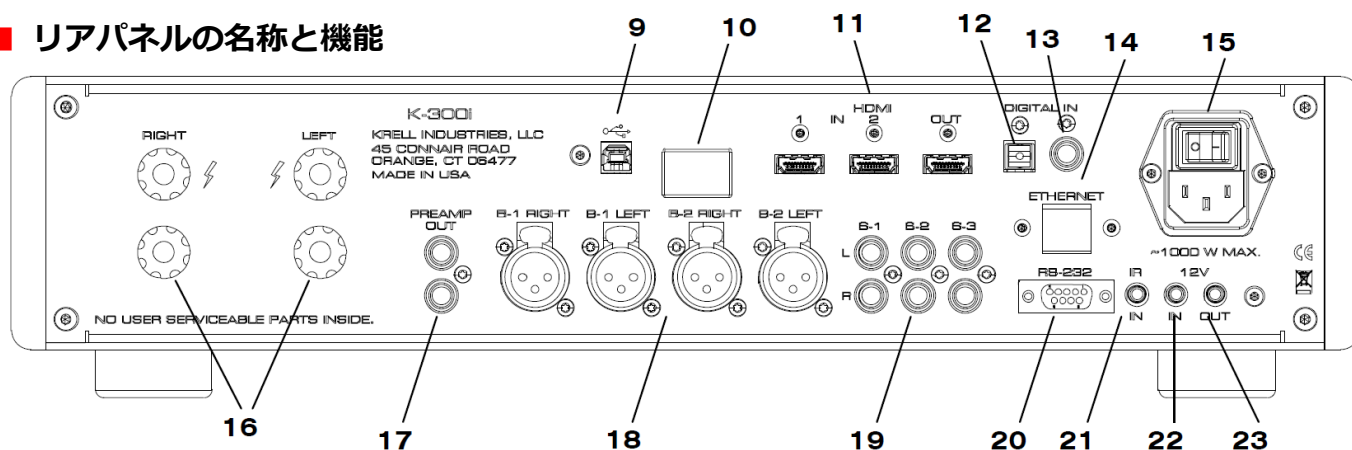
■ フロントパネルの名称と機能



1. 電源ボタン : このボタンで、スタンバイ⇄電源 ON の切り替えを行います
2. 入力切り替えボタン : 入力ソース切り替えモードへの入/出を行います。
3. ナビゲーション・ボタン : メニュー項目選択時は内容選択、入力ソース切替え時は入力選択に使用します。
4. メニュー・ボタン : メニュー項目への入/出を行います。
5. ディスプレイ・ウィンド : 入力、音量レベル、シアタースルーモードのステータスが表示されます。
6. IR 受光部 : リモートコントローラーからの赤外線受光部。
7. ボリューム調整ボタン : 音量レベルを調整します。
8. USB-A 入力 : USB メモリーにストアされたファイルを再生します (FAT または NTFS)。
(K-300i Digital のみ) 操作は再生アプリ“mconnect”によって行います。

※音量レベルはスタンバイ、及び主電源スイッチを切った後も記憶されています (0) に戻りません。

■ リアパネルの名称と機能



9. USB-B 入力
10. Bluetooth レシーバーカバー
11. HDMI コネクタ
12. Toslink 光デジタル入力
13. S/PDIF デジタル入力 (RCA 同軸)
14. RJ45 イーサネット入力
15. AC メイン・インレット/メイン・スイッチ
16. スピーカー出力端子
17. プリアンプ出力 (シングルエンド/RCA)
18. バランス (XLR) アナログ入力
19. シングルエンド (RCA) アナログ入力
20. RS232 コントロール端子
21. RC5 入力
22. 12V トリガー入力
23. 12V トリガー出力

※上記項目内の 9～13 は、デジタル入力を装備した K-300i Digital のみに適応する項目です。

9. PC によるストリーミング再生時等に使用します。
10. Bluetooth の使用可能範囲は、おおよそ 10m ですが、電波を遮断するような金属製ラックをご使用になる場合は 範囲が減少する可能性があります。
また同周波数帯 (2.4GHz) で作動する他の RF ソースによって機能が妨げられる恐れがあります。
11. HDMI 入/出力には、最大で HDMI ソース機器と 1 台のディスプレイが接続可能です。
映像信号は HDR で最大 4K までに対応。
音声データは 192kHz/24bit (PCM)、DSD は DSD128 までをサポートします。
ARC 機能を使用する際は、ディスプレイ出力を ARC 対応入力へ接続して下さい。
12. Toslink 入力は、最大 96 kHz/24bit までの PCM シグナルに対応します。
13. S/PDIF 入力は、最大 192 kHz/24bit までの PCM シグナルに対応します。
14. LAN 接続時のデータ速度は 10/100Mbps です。
Web への接続や mconnect アプリでのストリーミング再生、またはソフトウェアのアップデートには、必ずルーター等を介してインターネットへの接続が前提になります。
15. IEC320 規格 (15A) の AC インレットです。
上部の AC メイン・スイッチは「-」のマークを押した状態で ON になります。
16. 8.0mm までのスペード・ラグ、またはバナナ・プラグに対応しています。
17. この端子を介して他のパワーアンプに接続することで、本機はプリアンプとして機能します。
18. ピン配列は #1 = グラウンド、#2 = ホット/ノン・インバート (+)、#3 = コールド/インバート (-) です。
19. 最大入力電圧は 4Vrms です。
20. ホームコントロール・システムへ接続する際に使用します。
21. ホームコントロール・システム、または IR エクステンダーへ接続する際に使用します。
ベースバンド RC5 リモートコントロール信号 (3.3V LVCMOS レベル、5VDC) に対応し、IR エクステンダーに対し DC 電源 (5VDC、30ma) を供給します。
プラグを接続すると、フロントパネルの IR レシーバーは無効になります。



12. 同一方式のトリガー出力をもつ他の機器に接続し、その機器のスタンバイ⇄オンに連動し本機をスタンバイ⇄オンにするための端子
23. 本機のスタンバイ⇄オンに連動して、同一方式のトリガー入力を接続した他の機器をスタンバイ⇄オンにするための端子

※上記項目内の 9~13 は、デジタル入力を装備した K-300i Digital のみに適応する項目です。

■ リモートコントローラーの名称と機能

1. 電源ボタン

スタンバイ⇄電源 ON の切り替えを行います。

2. ミュート・ボタン

1 度押すとミュートになり、再度押すと解除されます。

3. アナログ入力切替ボタン

B1～B2、S1～S3 の入力を切り替えます。

4. デジタル入力切替ボタン (K-300i Digital)

デジタル入力の切り替えに使用します。

5. バランス調整ボタン

左右バランスの調整に使用します。

6. エンター・ボタン

メニュー選択、決定に使用します。

7. ボリューム・ボタン

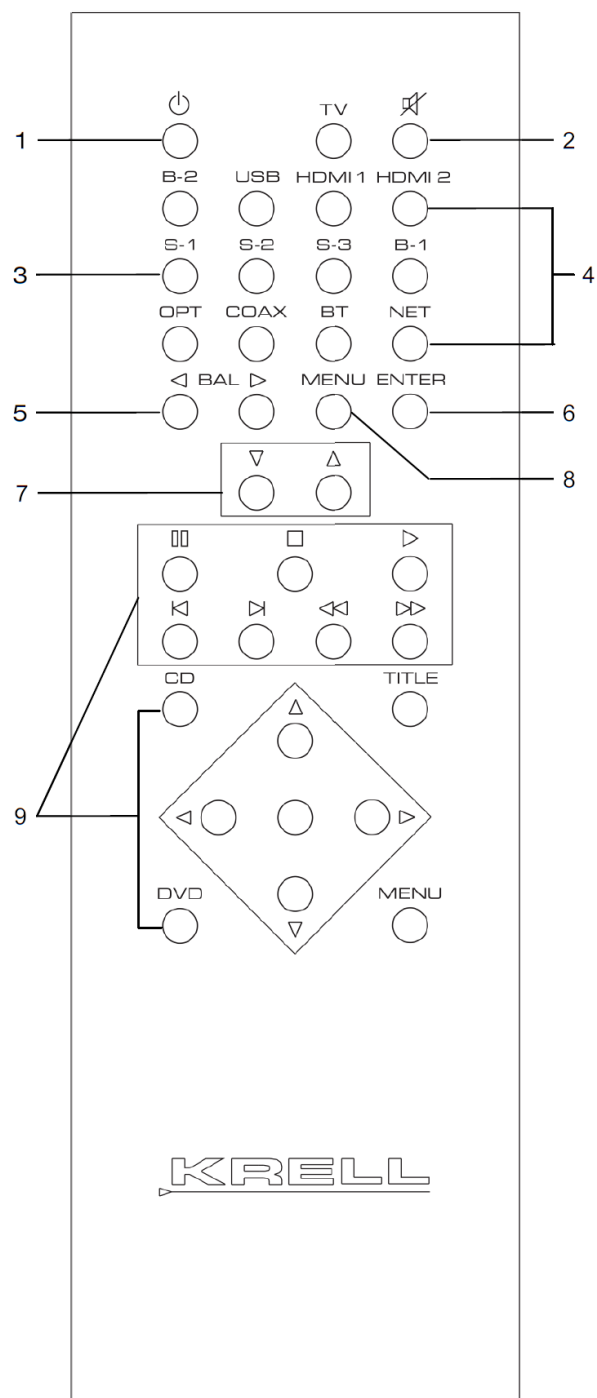
音量調整を行うボタンです。

8. メニュー・ボタン

このボタンを使用して、メニュー項目へ入ります。

9. KRELL 社製 CD/DVD プレイヤー操作ボタン

K-300i (Digital) には使用しません。



注意 !

左右バランス調整操作は本体ボタンでは行えません。

リモートコントローラーにて行って下さい。

■ リモートコントローラーの電池装着

本機のリモートコントローラーは、1.5V 単 4 電池 2 本を使用します。電池を以下の手順で装着してください。

- 付属の T-10 トルクスレンチにて、リモートコントローラー背面のカバーを取り外します。
- バッテリー装着部の表示にしたがって、極性を間違えないように電池を装着します。
- 背面のカバーを元の通り取り付けます。



注意！

※リモートコントローラーによる操作ができなくなったら、上記の要領で電池を交換してください。

※長期間ご使用にならないときは、電池の液漏れを防止するため、電池を抜いてください。



警告

リモコン用の電池の取扱について

下記のことは必ず守ってください。電池の使い方を間違えると電池が発熱、液もれや破裂したり、機器の故障やけがなどの原因となります。

- 電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。
- 電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師と相談してください。
- 分解、加熱、火に入れるなどしないでください。
- + - を逆に入れないでください。
- + - をショートさせたり、ネックレスなど金属製のものと一緒に携帯・保管しないでください。
- 電池そのものや電池を入れたリモコンの置き場所は直射日光・高温・高湿の場所を避けてください。電池には化学物質が入っているので、暑さや湿気は禁物です。特に高温・高湿、直射日光のあたる場所での保管はさけましょう。寿命が短くなるばかりか、破裂・液漏れをおこす恐れがあります。
- 電池に直接はんだ付けしないでください。
- 電池のもれ液が漏れて目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、失明やけがなどのおそれがあるのできれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受けてください。
- この電池は充電式ではないので、充電すると液漏れ、破損のおそれがあります。
- 長期間ご使用にならない場合はリモコンから電池を外してください。
また、使い切った電池は、すぐに機器から取りだしてください。
- 電池の使用推奨期限：リモコンの働きが悪くなったりした場合や、また、通常は半年から一年を目安として交換されるようお勧めします。

■ 基本操作

本機は、フロントパネルで入力機器の選択、音量コントロール、各設定変更を行なうことができます。

リモートコントローラーでは、これに加えてクレル社製の CD/DVD プレーヤーやアンプのコントロールも行なうことができます。

リモートコントローラーの操作については“リモートコントローラー”の説明をご参照ください。



注意！

本機は大パワーを持っていますので、不慮のノイズや不適切な過大出力からスピーカを守るため、入力切替えなどのキー操作を行なうときはボリュームを下げるかミュート状態にしてから行なってください。

1. 本機の AC 入力ソケット(19)へ AC コードを差し込み電源と接続します。
ここで AC ソケット上に配置されたメイン・スイッチを ON (|) にして下さい。 フロントパネルの電源オン/本体ディスプレイに「---」マークが点灯し、スタンバイ状態になった事をお表示します。
2. 本体、またはリモートコントローラーの電源ボタンを押してスタンバイからオンにしてください。
本体ディスプレイに“Initializing”の表示がされた後にソース、オーディオ・フォーマットが表示されます。
フロントパネル、もしくはリモートコントローラーでお聞きになる入力ソースを選択してください。
3. ソース機器をプレイ状態にします。
4. 音量を適正に調整します。
5. (※) 入力ソースを切替える際は、音量を絞りでから行ってください。これは、次のソースに切り換えた際、不意に大音量になるなどによってスピーカなどを損傷することを避けるためです。
6. ご使用にならないときは、本機の電源ボタンを押して電源をオンからスタンバイにしてください。リモートコントローラーでもスタンバイにすることが出来ます。
音量レベルは、スタンバイ後および主電源スイッチを切った後も記憶されています (0 に戻りません)。
次回使用時の不意の大音量を避ける為、使用後は音量レベルを絞りでください。
尚、長期間ご使用にならない場合は、主電源スイッチを切って、完全にオフにしてください。
(日常はスタンバイのままでご使用ください。)

(※) 本体での入力ソース切替え

本体フロントパネルにて入力ソースを切り替えるには、下記の手順にて行います。

- 1). SOURCE ボタン (2) を押します。
- 2). ナビゲーション・ボタン (3) の上下を使ってご希望のソース名を選択します。
- 3). ナビゲーション・ボタン部中央の ENTER ボタンを押して決定します。

■ メニュー設定項目の選び方、設定の仕方

メニュー・ボタンを押し、本体またはリモコンのボリューム（アップ/ダウンボタン）で設定項目を選びます。

本体、またはリモコンの ENTER ボタンを押し決定します。

項目決定後、各設定の変更は本体、またはリモートコントローラーのメニュー・ナビゲート・ボタン（4）を使用してディスプレイのメニュー画面を見ながら行います。

希望設定にカーソルを合わせた後、ENTER ボタンを押し決定します。

もう一度 MENU/メニュー・ボタンを押すとディスプレイは通常画面に戻ります。

■ メニュー オプション

本機は以下の通り、様々なメニュー オプションが用意されています。 ※（）内は工場出荷時設定です。

- Source Setup : ◎Assign Names ◎Theater Mode（全て Disable）◎Level Trim（全て 0dB）
- Preamp Output : ◎Level Trim（0dB）◎Output Mode（Variable）
- Network Setup : ◎IP Address ◎DNS Server ◎Mac Address ◎Default Gateway ◎Subnet Mask
- Diagnostic Mode :（Disable）※使用しません
- Software Version
- Software Update
- Display Setup : ◎Contrast（2）◎Backlight（15 秒）
- CEC Operation :（Enable）
- Restore Settings : 工場出荷時（Factory）設定に戻します。
- Save Settings
- Serial Number

Source Setup

◎ **Assign Names**（入力機器名称） : 各入力(S-1, S-2, S-3, B-1)の入力機器名称を設定できます。

アルファベット A～Z（大文字、小文字）、数字 0～9 及びスペースが用意されています。

◎ **Theater Mode**（シアター モード） : シアター・スループットが設定できます。

本機のシステムに接続されているスピーカをマルチチャンネル・システムで共用する場合、サラウンドプロセッサ等からのフロント R,L 信号を本機に入力しますが、サラウンドプロセッサ等のボリュームで音量調節をする為、その入力に対して本機のプリアンプ部のゲインをゼロにセットしボリューム操作を無効にできます。

各入力(S-1, S-2, S-3, B-1)が個別に設定できます

◎ **Level Trim**（入力レベルトリム） : 各入力の入力ゲインが個別に設定できます。

ゲインレベルは、1dB ステップで + - 10dB の範囲で設定可能です。

Preamp Output

◎ **Level Trim**（プリアンプ出力レベルトリム） :

接続されるパワーアンプ、サブウーファー等の入力レベルに合わせ、プリアウトの出力ゲインを設定できます。

ゲインレベルは、1dB ステップで + - 10dB の範囲で設定可能です。

◎ **Output Mode**（出力設定） : 出力は Variable（可変）もしくは Fixed（固定）のいずれかに設定可能です。

接続されるパワーアンプ、サブウーファー等の入力レベルに合わせ、プリアウトの出力ゲインを設定できます。

Network Setup（ネットワーク設定）：

デジタル入力（K-300i Digital /オプション）専用設定です。

但し、本機は Web 環境に LAN 接続する事で様々なサービスを取得可能です。

◎ IP Address：

IP アドレス サブメニューではネットワーク検出モード（デフォルトは[DHCP]）と割り当てられた IP アドレスが表示されます。

上ボタンまたは下ボタンを使用して DHCP と固定 IP 間をスクロールすることが出来ます。

DHCP を使用しているときに Enter ボタンを押すと、K-300i は IP アドレスを更新します。

固定 IP モードでは、IP アドレスを手動で編集する事もできます。

他のすべてのネットワークパラメータ（サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、および DNS サーバー）は固定 IP モードにのみ適用可能です。

MAC アドレスは編集できません。

Diagnostic Mode： 使用しません。KRELL 社にて内部検査を行うモードです。

Software Version（バージョン情報）： ソフトウェアのバージョン情報を確認できます。

Software Update（ソフトウェアのアップデート）：

LAN 環境に接続する事で、最新のアップデートを取得出来ます。

K-300i Digital 本体は KRELL サーバー上でアップデートの有無を確認します。

新バージョンのソフトウェアがある場合、自動的にダウンロードを開始してインストールします。

ソフトウェア更新完了後、様々なステータス・メッセージがディスプレイに表示され本機はスタンバイモードに戻ります。

Display Setup（ディスプレイ輝度）： ディスプレイの輝度(Contrast)が 3 段階で設定できます。

1（高）、 2（中）、 3（低）

CEC Operation（CEC モード/K-300i Digital のみ）：

CEC（Consumer Electronics Control）は HDMI 接続を介し、単一のリモコンから複数の機器を制御できるようにするリモコン・システムです。

K-300i での CEC コントロールは HDMI 出力のオーディオリターンチャンネル（ARC）操作にのみに使用します。

CEC で K-300i を操作することはできません。

ARC 機能を使用するには、CEC 操作を Enabled（デフォルト設定）に設定する必要があります。

ARC は HDMI 接続を介して K-300i は戻るテレビからの音声信号なので、「TV」と表示されます。

CEC によってテレビが自動的に ARC HDMI 入力（通常は全 HDMI 入力のうちの 1 つ）に切り替わる事があります。

ARC を使用しない場合は、CEC 操作を Disabling（無効）にしてください。

Serial Number（製造番号表示）： 本体の製造番号を確認出来ます。

■ コントロール・オプション

Web Server (ウェブ サーバー機能)

K-300i は携帯機器やコンピューターからの遠隔操作を可能にする Web サーバー機能を内蔵しています。

この機能にアクセスするには、Web ブラウザの URL ウィンドウに K-300i の IP アドレスを入力してください。
(IP アドレスはフロントパネルメニューの Network Setup セクションにあります。)

この機能は全ての主要 Web ブラウザ (Internet Explorer、Safari、Firefox、および Chrome) で動作します。

Web ページが正しく読み込まれない、またはユニットを制御できない場合は Web ブラウザが最新バージョンであるか、及びその Javascript が有効になっていることを確認してください。



注意 !

この機能に使用する Web ブラウザを備えた機器は、K-300i と同じネットワーク上になければなりません。
また機器の IP アドレスの最初の 3 つの数字のグループは、K-300i の物と同じでなければなりません。

RS232

K-300i のリアパネルにある RS-232 ポートを介しホームコントロール・システムを使用できます。
ユニットのコントロール、ステータス情報を取得できます。

接続情報とプロトコルについては、以下のリンクを参照ください。

IP Control (IP コントロール)

K-300i のリアパネルにあるイーサネットポートを使用してホームコントロール・システムを使用出来ます。
ユニットのコントロール、ステータス情報を表示することもできます。

プロトコルについては、以下のリンクにあるドキュメントを参照してください。

注意 : コントロールシステムがネットワーク上の他の機器からのアクセスを許可していない場合、K-300i の Web ページが利用できなくなる可能性があります。

http://www.krellonline.com/downloads/K-300i%20RS-232_IP%20Control%20Protocol.pdf

■ デジタル・モジュール (以降 K-300i Digital のみ適応)

mconnect Control app

K-300i Digital は、ネットワークストリーミングオーディオおよび USB メモリスティックからの再生をお楽しみいただけます。コントロール・アプリには mconnect app を推奨しております。

この無料アプリは Apple App Store または Google Play Store からダウンロードしてください。

K-300i Digital は下記最新のストリーミングサービスをサポートしています。



注意！ : K-300iDigital は DLNA / UPnP に準拠しています。

どの DLNA ミュージックプレーヤーアプリでも再生可能ですが、ボリューム・コントロール等の独自の制御機能は、mconnect Control アプリを使用している場合にのみ使用できます。

K-300i のフロント・パネル、リモコン、または Web サーバーから、「Network」（リモコンの場合は「NET」）を選択します。

mconnect コントロールアプリを開き、下端にある[Play]ボタンをクリックします。

PlayTo 画面には、利用可能なすべての再生デバイスが一覧表示されます。

「Krell K-300i」をクリックしてください。

リストに K-300i が表示されていない場合は、本機とモバイル機器が同じネットワーク上に接続されていることを確認してください。

確認するには、フロントパネルメニューの[Network Setup]セクションに移動し、有効な IP アドレスを確認します。最初の 3 桁番号のグループがアプリ用デバイスに割り当てられている IP アドレスと同じである必要があります。

インターネットラジオや他のストリーミングサービスを使用するには、アプリの下端にある「ブラウザ」ボタンをクリックしてください。

ブラウザ画面には、利用可能なすべてのストリーミングサービスが表示されます。

但し Tidal など、一部サービスは有料となります。別途ご購入下さい。



MQA (Master Quality Authenticated))

アワード・ウィナーである MQA はオリジナルのマスターレコーディングの持つ膨大な情報量をストリーミング、またはダウンロードするのに十分なサイズへ圧縮する「オーディオ折り紙」と呼ばれる英国発祥の画期的な技術です。

K-300i には、MQA オーディオファイルとストリームを再生できる MQA テクノロジーが含まれています。

K-300iDigital は MQA オーディオファイルに適応し、オリジナルのマスターレコーディングのサウンドのストリーミング再生を提供することができます。



Connect の使い方 :

Connect を使用するには Spotify Premium の登録（有料）が必要です。

- 1) K-300i Digital と同じネットワーク上の携帯電話、タブレット、または PC で Spotify アプリを起動します。
- 2) Spotify で曲を再生し 'DEVICES AVAILABLE'を押してください。
- 3) K-300i を選択すると、音楽が大音量で再生されます。

(※) Spotify ソフトウェアは下記サードパーティのライセンスの対象となります。

<https://developer.spotify.com/esdk-third-party-licenses/>

Network Music Storage / NAS

ローカルコンピュータに保存されている音楽にアクセスするには、コンピュータが同期するミュージック・サーバーは DLNA / UPnP 準拠が前提となります。

Krell では Twonky Server をお勧めしています。

起動すると mconnect コントロール・アプリはサーバーを認識し、ブラウザ画面のローカルサーバー・セクションに表示されます。

あとはクリックして目的のファイルに移動するだけです。

準拠する NAS デバイスもこのリストに表示されます。

USB Stick

USB メモリスティックに保存された音楽にアクセスするにはネットワークソースを選択し、USB デバイスを K-300i のフロントパネルにある USB ソケットに挿入します。

mconnect Control アプリの下端に沿って「ブラウザ」ボタンをクリックしてからクリック 画面の Local Server セクションにある「K-300i Server」に移動します。

USB スティックの内容が画面に表示されます。

目的のファイルを選択すると再生が始まります。

Bluetooth

Bluetooth 対応機器から音楽を再生するには、まず「Bluetooth」（リモコンでは「BT」）を選択します。

その後、Bluetooth デバイスと K-300i は同期します。

K-300i が Bluetooth のデバイス・セッティング メニューのリストに表示されます。

表示された使用可能なデバイスから K-300i を選択し、デバイスが「接続準備完了」を表示するのを待ちます。

別の機器と同期するには、最初の機器の接続を解除する必要があります。

これは通常、解除したい機器へ「K-300i を“Forgert” = 忘れる」ように指示することによって行われます。

最高の音質を得るには、Bluetooth デバイスの音量は最大に設定し、K-300i の音量コントロールで音量レベルを調整します。



Qualcomm® aptX™

K-300i は、aptX 対応の Bluetooth デバイスに接続したときに最高の音質を実現するための Qualcomm®aptX™オーディオテクノロジーを採用しています。

aptX テクノロジーを搭載しているかどうかを判断するには、デバイスの仕様を確認してください。

USB Computer Audio

K-300i は USB 2.0 対応のオーディオ機器です。

USB を使用してコンピューターから音楽を再生するには、コンピューターからの USB ケーブルを K-300i のリアパネルにある USB-B ポートに接続します。

フロントパネル、リモート、または Web サーバーから「USB」ソースを選択します。

K-300i は最高 24-bit / 192kHz までの PCM ファイルと最高 DSD128 までの DSD ファイルを再生します。

■ 主な仕様

本体

●入力	: XLR(バランス) x 2 系統 : RCA(シングルエンド) x 3 系統	●THD	: <0.015% @1 kHz, 150 W, 8 Ω : <0.08% @20 kHz, 200 W, 8 Ω
●出力	: スピーカ端子 x 1Pr : プリアウト出力 x 1 系統 (RCA)	●出力	: 150W/ch RMS(Class A @8Ω) : 300W/ch RMS(Class A @4Ω)
●コントロール入力	: IR リモート、12V トリガー、RS232 x 各 1	●スルー レート	: 46V/μs
●コントロール出力	: 12V トリガー(300mA) x 1	●出力電圧	: 34.6V RMS、98V peak to peak
●入力 インピーダンス	: XLR バランス = 16kΩ : RCA シングルエンド = 8kΩ	●出力 インピーダンス	: <0.023 Ω at 20 Hz : <0.035 Ω, 20 Hz to 20 kHz
●周波数特性	: 20 Hz to 20 kHz +0, -0.22 dB : <10Hz to 100 kHz +0, -0.57 dB	●ダンピング ファクター	: >347 @20 Hz, 8 Ω : >228, @20 Hz to 20 kHz, 8 Ω
●SN 比	: > 104dB (unweighted) : > 117dB (A-weighted)	●消費電力	: スタンバイ時: 11 W、 アイドリング時: 46 W 最大出力時: 900 W
●ゲイン	: 25dB @2V RMS in XLR, 最大出力	●寸法	: 438 mm x 105 mm x 457 mm
●入力感度	: 160 mV RMS	●重量	: 23.6 kg(本体)、27.3 kg(梱包時)

デジタル モジュール (K-300i Digital)

●デジタル入力	: 同軸 Coaxial (PCM 24bit/192kHz) TOS Link optical (PCM 24bit/96kHz) HDMI (HDMI 2.0a, HDCP 2.2) x 2 系統、HDMI 出力 x 1 (オーディオ:PCM = 24bit /192kHz、DSD128、映像= 4K video) USB-A (USB 2.0 host) x 1 USB-B (USB 2.0 audio device) x 1 (PCM = 24bit /192kHz、DSD128) Bluetooth with aptX x 1
●USB、LAN 対応ファイル	: MP3, AAC, WMA, WAV(PCM), FLAC, ALAC (PCM = 24bit /192kHz、DSD128)
●Bluetooth ストリーミング	: A2DP, AVRCP, HFP, HSP
●Bluetooth モジュール	: RN52 (技術基準適合証明番号   201-135403)

(※) K-300i Digital に搭載されるデジタルボードは、K-300i へもオプション設定として用意されています。

USB/HDMI/同軸/光入力を備えたデジタルボードを後に追加する事で様々なデジタル機器の再生、ストリーミングによるデータ再生をお楽しみ頂けます。

※ 性能、品質向上の為、上記の仕様は予告なく変更される場合がございます。予め御了承下さい。

■ 保証について

- 本機は長期にわたって高い信頼性を発揮できるよう設計されておりますが、万が一、故障などのトラブルが発生した場合は有限会社アッカのサービス・スタッフがサポートいたします。
- お客様自身による修理は絶対に行なわないでください。保証の対象外になるばかりでなく、アンプ部には高い電圧が流れているため大変危険です。
- 修理のために製品をアッカに返送される際、事前にお電話で症状についてお求めの販売店、もしくはアッカにご相談ください。アッカの連絡先は次のとおりです。
有限会社アッカ
〒106-0031 東京都港区西麻布 1-15-1
森口ビル 7F Tel : 03-5785-0661 Fax : 03-5785-0662 E Mail : info@accainc.jp
- 製品をご返送される際、お買い求めの際に使われていた梱包材をご使用になりカートンに入れて下さい。これは保証サービスを受けていただくために絶対に必要な条件となります。
- 製品保証期間 : 2 年間
- 日本国内における製品保証について日本国内における本機の製品保証については、以下の規定が適用されます。

○ 保証

本機に用いられている材料や生産工程には十分な品質管理が施されていることを保証いたします。

製品の保証期間は初代の購入者による購入日から 2 年間です。この保証は購入日から 30 日以内に同梱の保証登録書をアッカにご返送いただいた場合にのみ適用されます。

○ 保証内容

取り扱い説明書に従わない使い方をした場合や乱暴に扱った場合、輸送中の事故や不注意、アッカ以外で修理や変更が加えられた製品に対しては、この保証は適用されません。ご購入の販売店、またはアッカへ製品を返送される際、梱包・配送はお客様のご負担となります。

○ 修理

製品の故障が上記保証内容と条件に合致している場合、部品代や技術料はアッカが負担いたします。

○ その他

製品に対するいかなる保証についても保証期間中のみ有効です。なお、本機に接続された機器に対して付随的に発生した故障やその修理費用については、本保証では一切適用されません。

※この保証規定は英文の取扱説明書を含むすべての保証に関する記述に優先します。

AccA Inc.

有限会社 アッカ

〒106-0031 港区西麻布 1-15-1 森口ビル 7F ■ Tel: 03-5785-0661 Fax: 03-5785-0662

www.accainc.jp